

平成 28 年 7 月 21 日

リオデジャネイロ五輪 日本選手を陰で支える男
**特別講義 「 エンジニアが映像で挑む！
～トップアスリート強化～」**

放送日 7月24日(日) 20:00～20:45 BS231チャンネル(首都圏・地デジ12チャンネル)

●番組概要

国立スポーツ科学センター(東京北区、通称 JISS)はオリンピック・パラリンピックに出場する日本のトップアスリート強化を支援。選手個々の要望を生かした映像システムやライバル選手を記録した膨大な映像データベース作成に、エンジニアの三浦智和さんらが取り組む姿をドキュメント。



エンジニア三浦智和さん



三宅宏実選手



スーパースポレコを使った練習

ウエイトリフティングの三宅宏実選手の練習は前後左右からカメラで撮影できる。練習の様子は三浦さんが開発に携わった「スーパースポレコ」というシステムですぐに見ることができ、フォームの修正などに役立つ。「ロンドン五輪の銀メダルはこの装置のおかげ」と三宅選手は話す。

三浦さんたちが作成した映像データベースには現在、38万件の動画が蓄積され、30競技4千人の日本選手、コーチが利用している。柔道選手はライバルの特徴を映像で徹底分析し、コーチが「ライバル選手になりきって」稽古を実施。また審判の特徴も映像で分析する試みが始まっている。

一方、映像データベースのヘビーユーザーが体操の内村航平選手。国内外のトップアスリートを自ら映像分析することで、あくなき技の探求を続けている。



映像データベース



三浦さんと内村航平選手



平行棒の練習

お問い合わせは


〒261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11
担当 総務部広報課TEL 043-298-4200(直通)
FAX 043-297-2781
Email koho_ka@ouj.ac.jp